

# みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

## <市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに初春をお迎えのことと存じます。日頃より後援会をはじめとする地域の方々には、市政活動に温かいご理解とご協力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。

さて昨年は、8月のリオデジャネイロオリンピックでの日本選手団の活躍に、興奮・感動の連続でした。2020年開催の東京への期待も高まっていることでしょう。

一方で4月の熊本地震、異常気象による自然災害で被害を受けられた方には、心からお見舞い申し上げます。

政府が12月に閣議決定した2017年度予算案は、5年連続で過去最大となり97.5兆円と発表されました。「1億総活躍社会の実現」として保育士や介護職員などの処遇改善や返済不要な大学生向け給付型奨学金などが目玉と言えるのではないのでしょうか。

高崎市では、新体育館「高崎アリーナ」の完成、秋にオープンをめざしている大型商業施設「高崎オーパ（仮称）」建設と駅前の風景が日々刻々と変貌しています。

地方都市が抱える課題に各自治体はどのように都市としての魅力を打ち出しているのかが重要と言えるでしょう。“住んで良かった” “安心して生活ができる” まちづくりができるよう、これからも住民の皆さまの声を直接聴き、実情を理解しながら、初心を忘れず全力で議会活動に取り組みますので、ご指導・ご支援をよろしく願いいたします。

## 12月市議会定例会報告

平成28年第5回市議会定例会は、11月30日から12月14日までの15日間の会期で開かれました。本定例会では、請負契約締結について（中央銀座アーケード改築工事）、公の施設（高崎市シルバーセンター田町）の指定管理者の指定について、平成28年度高崎市一般会計（第6号）及び特別会計補正予算議案などの審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。なお、一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ41億8779万円を追加し、総額1715億8950万円となります。

### 東部まちづくり研究会“くじら森”が高崎市生涯学習まちづくり賞受賞！

東部地区の活性化や伝統文化の継承等に尽力し、おやこまつりやイベントなど地域住民の世代間交流を通じたまちづくり活動の成果が認められ、高崎市生涯学習フェスティバルにおいて表彰されました♪♪



### 十二月定例会

### 市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十一人の議員が行い、高橋みなおは、三日目に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

#### 増加が予想される国内外からの来訪者の対応について

**質問** 高崎アリーナ開館を契機に本市への国内外からの来訪者の増加は確実であり、飲食業やホテル業界との連携を図る中でホスピタリティーの醸成が求められる。昨年の国際台気道大会での中心市街地の賑わいは明らかであったが、状況をどのように分析し、今後の対応を検討しているのか。

**答弁** 関係者向けの割引サービスや英語標記のチラシを作成し、売り上げが増加した店舗もあった。写真入りの3ヶ国語メニューなども役立つと聞いている。バスやタクシーなどは対応に苦慮したようであり、今後は高崎駅の観光案内所に専門スタッフを配置するなど受け入れ態勢の強化を図りたい。

**質問** 外国人への対応ではインバンド、観光施策が展開されるが、おもてなしの分野についての見解は。

**答弁** 外国人目線が重要と考え、在住外国人の声を反映し、対応できるボランティアの活動を推進している。今後は、体験型観光にも対応できるようPRを図りたい。

**質問** 本市の集客を考えると、アプリケーションの充実が必要であるが、魅力を発信できるアプリの開発や情報通信技術の活用についてどのように考えるか。

**答弁** 来訪者が情報を入力するために必要な環境整備を進めるとともに、観光協会やラジオ高崎と連携し、アプリを活用した取り組みについて調査研究を進め、利便性の向上と誘客促進に努めたい。

#### 本市における行政協力について

**質問** 自治体行政においては、「行政協力組織」の同時存在により成り立っていると考える。町内会長は行政と地域をつなぐパイプ役として区長を委嘱されているが、年々業務が増加しているという声を耳にする。執行部はどのように認識し、行政協力について検討しているのか。

**答弁** 市民への情報伝達や地域住民の声を行政に届けていただく役割のほか、各種委員の推薦などの業務も担っていただき負担が増えていると認識しているので、軽くできるよう努めたい。

**質問** 町内会は独立した自治組織であるが、区

長の役割や連携・協力についてどのように考えるか。また、委嘱事務の効率化を図るべきであるが見解を。

**答弁** 住み慣れた地域で安心して生活するための地域住民の支え合いの中核を担っていただき、協力がなくして成り立つものではないと認識している。今後は、各課と調整や工夫を図り、負担が軽減できるようにしていきたい。

**質問** 地域コミュニティの弱体化が進む中、町内役員の担い手不足から高齢化も進み兼務で対応している現状を理解しているのか。仕事をもちながらも地域行政の役員ができるような仕組みづくりも課題ではないか。

**答弁** 各種委員を若い世代に担っていただける雰囲気醸成するための行事などを研究し、地域の主体性を生かした働きかけを行っていきたくと考えている。

### 後記

新聞報道でもご承知のとおり、政務活動費の不適切支出問題を巡り、収支報告書の修正や返還が相次ぎました。市民の皆さまからは、「公金という意識が欠如している」「活動費の透明性がわかりにくい」などの厳しいご意見もいただきました。これを単に個人の問題ではなく、高崎市議会の重大な課題と捉え、信頼を回復できるよう取り組む覚悟でありますので、今後ともご指導・ご鞭撻をよろしくお願いたします。